

七宝焼アートヴィレッジ民間活力導入可能性調査における民間事業者ヒアリング結果について

1. 民間事業者ヒアリングについて

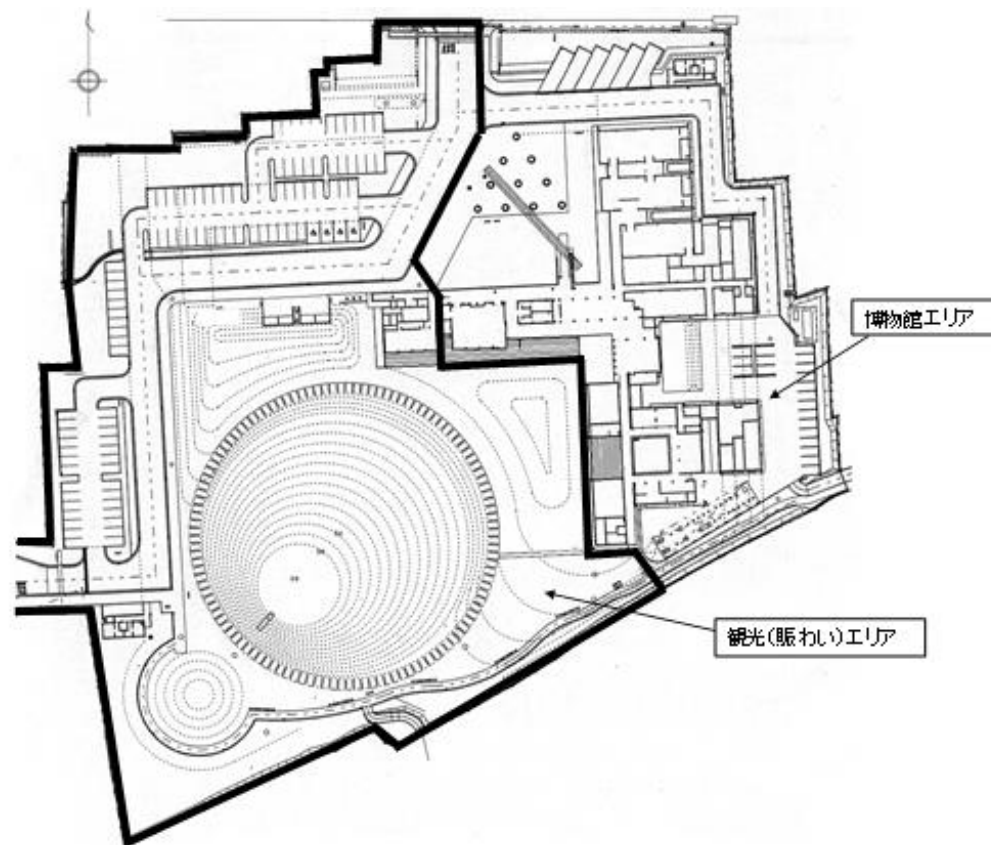
令和6年8月23日に開催いたしました令和6年度第1回あま市七宝焼アートヴィレッジ運営委員会にて七宝焼アートヴィレッジについて、施設全体の集客力の増強や賑わいの創出に向け、民間事業者のアイデア、意見などを参考にして、民間活力の導入可能性、今後の方向性を基本構想としてとりまとめるため、七宝焼アートヴィレッジ民間活力導入可能性調査を実施しており、進捗状況などをご報告いたしました。

その後、9月から10月にかけて民間事業者へのヒアリングを実施いたしましたので結果をご報告いたします。

2. 民間事業者ヒアリング概要

下図の観光（賑わい）エリアを対象として他都市で類似施設における官民連携事業の実績を有する民間事業者6社へヒアリングを行い、民間活力導入（官民連携事業等）の可能性や事業実施の条件、課題の把握を行いました。

○観光（賑わい）エリア



3. ヒアリング結果（まとめ）

- (1) 官民連携事業（PFI、P-PFI など）の実施可能性あり。
- (2) 官民連携事業の実施とアートヴィレッジの賑わいづくりについて、前向きな意見を聞くことができた。
- (3) ただし、市側の連携事業として、芝生広場での施設整備等が不可欠であることを確認。

※ 民間事業者からの意見（詳細は別紙1参照）

(1)

- ・他都市で実施している Park-PFI で進めてもらえると手が出しやすい。
- ・キッチンスペースは十分に活用できると思う。民間事業者に運営もしくは委託する形で活用できると良い。

(2)

- ・官民連携事業の実施に向けて、前向きに様々な提案をしていきたい。
- ・広場にある築山は子どもたちが興味を持つポイントになるため、そのまま活用することは有効。

(3)

- ・市側の整備がゼロでは官民連携事業は成り立たない。芝生の張り替えなどの市事業の実施が必要。
- ・広場をフラットな形状にした方が良い。（窪地をそのまま利用する案もあり。）
- ・ショップに地域の特産品が置いてあるが、もう少し買いやすい商品を置いて物販機能を強化した方が良い。
- ・来館者が現在10万人とのことだが、弊社としては、この来館者数だと手が出にくい。もっと増やしていく考えを市の施設整備計画やイベント開催企画などで示していただくことが必要。
- ・ふれあい伝承館での集客力の増加や既存の事業の質的向上及びショップの集客力向上が必要。